

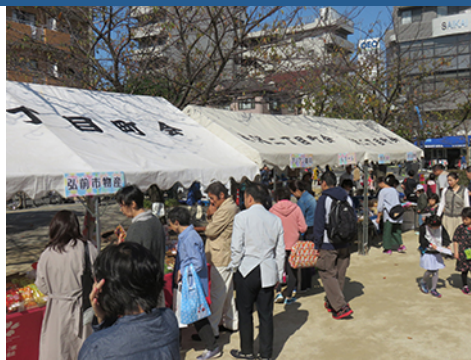
当日のようす



二葉小学校音楽クラブ演奏



金魚ねぷたづくり・牛乳パック行燈づくり



弘前市物産・亀一町会などの模擬店



ガムラン体験



二葉小学校貼り絵



みどり保育園Tシャツ展示



りまねぷた



北斎切り絵・ねぷた絵展示



着付け体験



マジックショー



ハワイアンショー



ねぷたお囃子演奏



灯りのフェスティバル

北斎祭りを彩る人々



亀沢一丁目町会・婦人部
(焼きそば・じゃがバター)



まちづくりの会(受付)



亀沢二丁目町会(交通警備)



亀沢一丁目町会(交通警備)



着付け体験



北斎切り絵



北斎切り絵



牛乳パック行燈づくり



ねふた運行



ねふた運行



ねふた運行

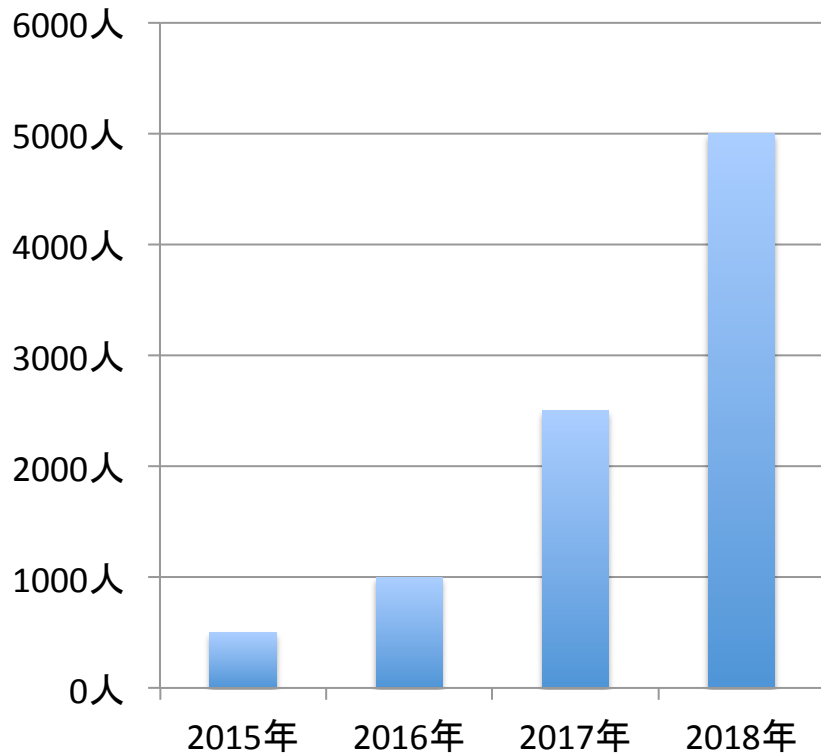


ねふた運行

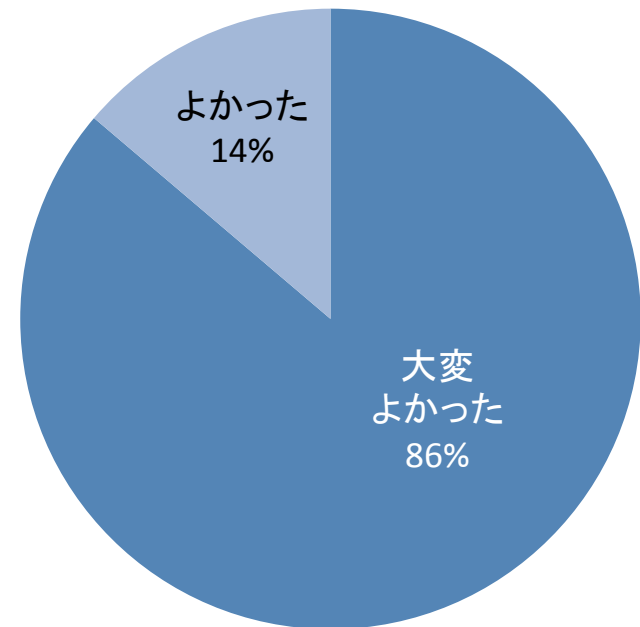
成果①

参加者数の増加・満足度の充実

参加者数(人)



満足度アンケート



◎2015年の参加者数(約500人)と比べ、2018年の北斎祭りは**10倍の約5,000名に増加**
→約8,700人が住む亀沢にて**人口の6割近くに相当**する規模となっている

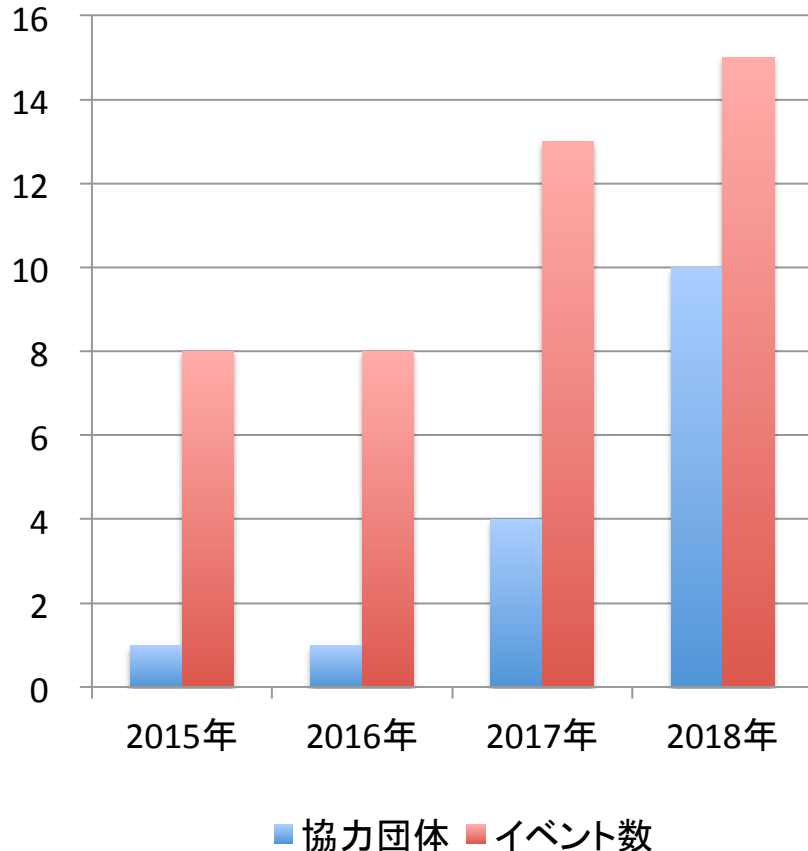
◎**地域内外の人々が多世代で参加**できる催しになっている

◎満足度アンケートでの「**大変良い**」は例年80～85%程度、**参加者数増加でも満足度は損なわれず**

成果②

広がる人の繋がり

協力団体・イベント数



◎2015年と比べ、

協力団体は1→10、イベント数は8→15に増加

歴史的な由縁が繋いだ交流



弘前市からやってきた、高さ7.7mの大型ねぶた運行



◎墨田区と弘前市の交流を亀沢が後押し

※ねぶた運行前に区長と市長の会談を開催

工夫①

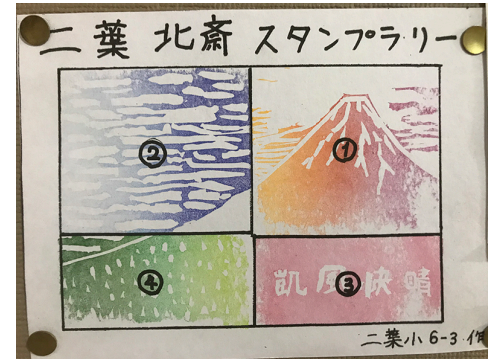
地域が主体のにぎわいづくり



亀沢全町会・全関係者(テント設営)



亀沢全町会(ねぶた運行時の交通警備)



スタンプラリー台紙(完成時)



有志・亀沢全町会(フラッグ設営)



亀沢一丁目婦人部(焼きそば・じゃがバター)

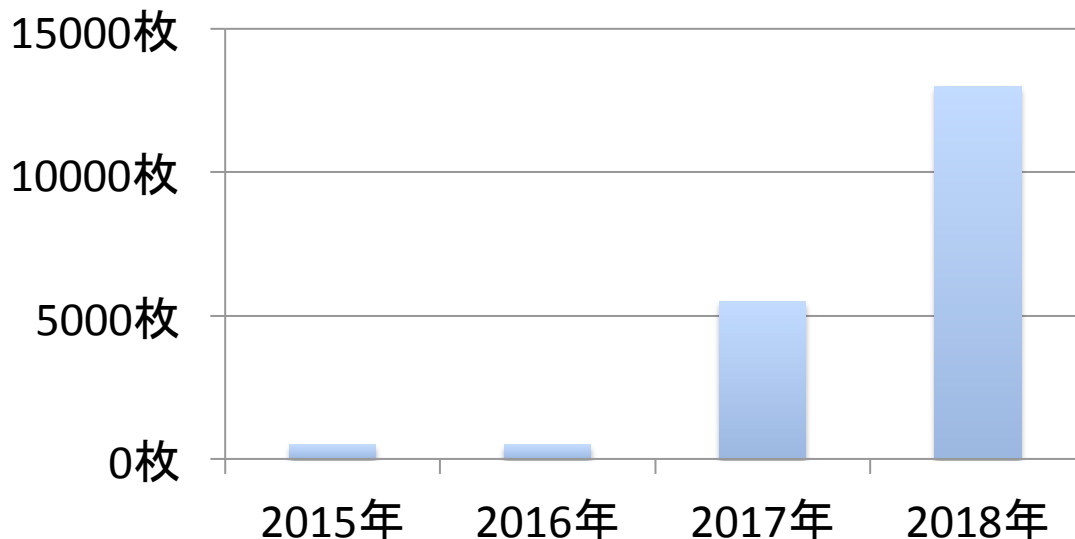


製作した小学生もスタンプラリーに参加

- ◎地域住民が主体となる枠組み
→約200人が運営で関わる規模となる
(弘前市も含む)

- ◎開催当日に会場内を移動する仕掛けとして、
スタンプラリーを二葉小学校が作成
- ◎葛飾北斎に関するクイズ形式とし、
地域学習の授業で学習した内容を出題

北斎祭りチラシ配布枚数



2015・2016年： 500枚(町会内での回覧板・掲示板、店舗や施設での配布)

2017年： 5,500枚(上記に加え、**亀沢各住戸ポスティング**)

2018年： 13,000枚(上記に加え、**本所地域小中学校への配布**)

データなどによる案内

Facebook告知：**8,469人にリーチ、シェア41件**(※前年は4,674人にリーチ、シェア11件)

HP告知：**開催前1週間のアクセス1,535件**

その他：**すみゆめチラシ、区報など**

工夫③

事前広報の充実(昨年の成果の展示)



◎渡辺パイプ株式会社(亀沢一丁目)での北斎通り側交差点脇の展示スペースにて、

昨年の北斎祭りにて三浦呑竜氏が描いたねふた絵を開催1ヶ月前より展示

※当会主催の「亀沢地区建て替え調整協議会」での協議のもと展示スペースを設置した経緯あり

工夫④

事前広報の充実(バナーポールの活用)



◎北斎通り街路灯のバナーポールに、北斎祭りフラッグを開催3週間前より掲示

→亀沢地区の景観形成重点地区指定に伴い、フラッグが景観形成に与える効果を検証する

※北斎通り街路灯バナーポールの活用について、「景観ガイドライン検討会」「亀沢地区連絡会」

「両国観光まちづくりグランドデザイン会議」において地域と行政が協議をしてきた経緯あり

北斎祭り講演会

「江戸の大名屋敷物語 隅田川を中心に周辺流域の町の形成について」

実施日 : 2018年11月10日(土)

実施場所 : 豎川中学校

参加者数 : 125名

講演 : 岡本哲志氏(法政大学元教授)

対談 : 岡本哲志氏／五味和之氏(すみだ北斎美術館学芸員)

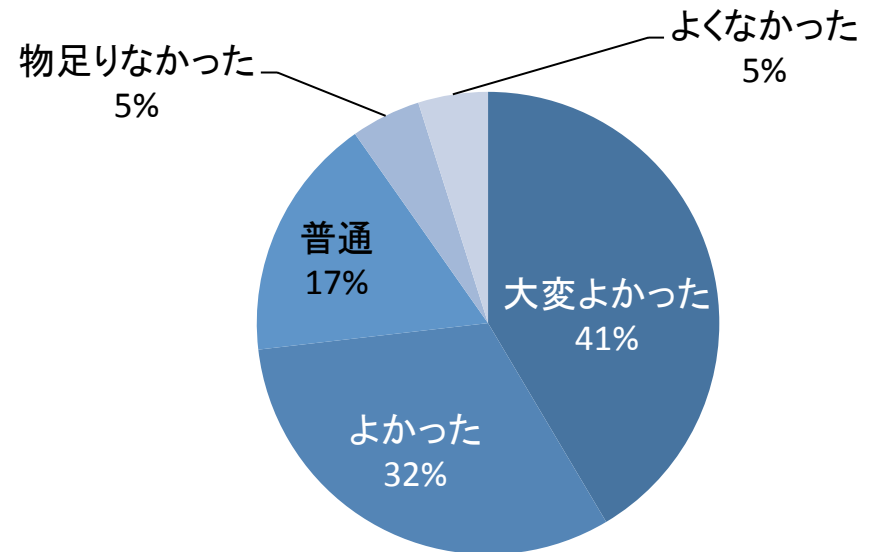
後援 : 東京建築士会、日本建築家協会城東地域会、東京東信用金庫

協力 : 豎川中学校青少年育成委員会、YKK株式会社、YKK AP株式会社

特別協賛 : アサヒグループホールディングス株式会社



満足度アンケート



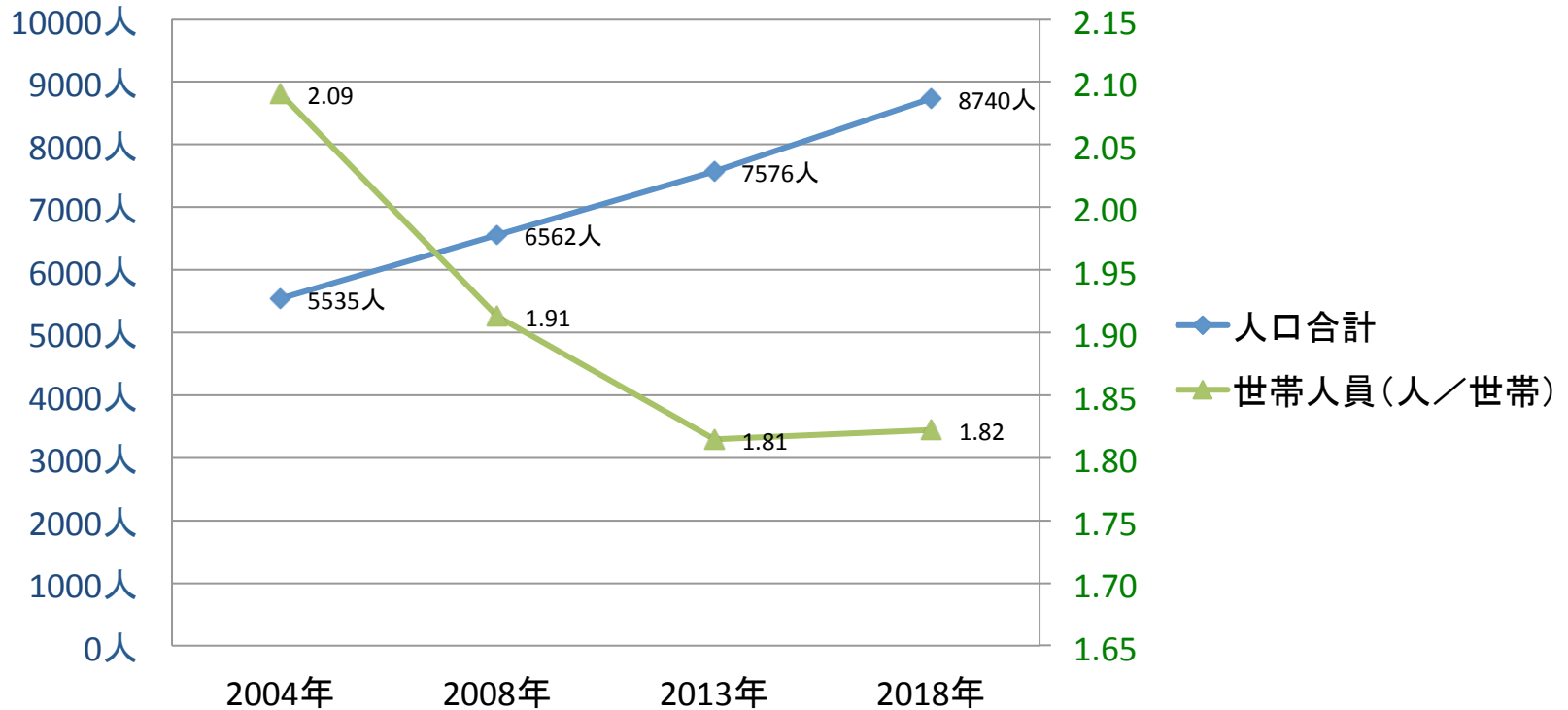
◎地域の**歴史を再発見**するきっかけになった

◎地域外からの参加者が多く、**会のまちづくり活動を周知する機会**になった

◎講演会アンケートでの「大変良い」「良い」は通常80～90%程度、**今回は73%で若干低かった**

課題

亀沢地区 人口と世帯人員の推移



- ◎ 増え続ける人口により失われがちな、地域の文化や歴史などの価値観を未来へ引き継いでいく
- ◎ 単身者世帯の増加に伴う地域コミュニティの希薄化を防ぐ
- ◎ 地域の防災・防犯活動を直接的・間接的にサポートする仕組みづくり
- ◎ ハレの日における景観やまち並みの検討